

岡大病総 第200号  
平成26年 1月29日

各関係機関の長 殿

岡山大学病院長

榎野博史 公印省略

看護部長候補者の推薦について（依頼）

時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、本院では、看護部及び大学院保健学研究科等と連携し、看護研究の質の向上、教育プログラムの創出、看護臨床研究者並びに看護教育指導者の育成等を目的とした、看護研究・教育センターを平成26年4月1日付けで新たに設置することになりました。

また、同センターの教授には、現看護部長が就任予定となっております。

つきましては、看護部長候補者を別紙のとおり公募いたしますので、貴大学（附属病院）又は貴関係機関に適任者がおられましたら、平成26年2月7日（金）までに必要書類を添えて御推薦くださるようお願いいたします。

本件担当：岡山大学病院総務課人事・労務グループ  
人事担当 石尾裕則  
〒700-8558  
岡山市北区鹿田町2-5-1  
TEL086-235-7517 FAX086-235-7636  
e-mail：ishio-h@adm.okayama-u.ac.jp

別 紙

- 1 採 用 職 名 国立大学法人岡山大学病院 看護部長  
(任期3年, 再任可。ただし, 引き続き6年を超えることはできない。また, 任期の末日は, 本学定年退職日(年齢60年の定年に達した日以後における最初の3月31日)を超えないものとする。)
- 2 就任予定年月日 平成26年4月1日
- 3 応 募 資 格
- 1) 人格・識見に優れ, 心身ともに健康である者
  - 2) 大学の附属病院の看護師, 若しくは, 大学又は短期大学の看護学科等の専任教員, 又は, これと同等であると認められる者
  - 3) 看護師の実務経験が5年以上あり, 看護師長以上の職の経験が3年以上あること
  - 4) 日本看護協会認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程若しくは同等の研修を修了していること。又は, 看護系大学院を修了し, 修士又は博士の学位を取得していること
  - 5) 看護に関する研究業績を有していること
- 4 提 出 書 類
- 1) 履歴書(市販の様式, 写真貼付) 1部
  - 2) 業績目録(別紙記入例参照のこと) 1部
  - 3) 推薦書(様式任意) 1部
  - 4) 看護部長職についての抱負(過去の経験をふまえたもの)について1,000字以内にまとめたもの 1部
  - 5) 看護師(婦)免許証の写(本院の看護師在職者は, 除く。) 1部
- 5 書 類 提 出 先 〒700-8558  
岡山市北区鹿田町二丁目5番1号  
岡山大学病院長 榎野博史  
注) 郵送の場合は書留とし, 表に「看護部長応募書類在中」と朱書のこと

# 業績目録

| No. | 著書・学術論文等の名称 | 単著・共著の別 | 発行又は発表年月日 | 発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称 | 概要 |
|-----|-------------|---------|-----------|---------------------|----|
|     |             |         |           |                     |    |

業績目録

| No. | 著書・学術論文等の名称                       | 単著・共著の別 | 発行又は発表年月日 | 発行所、発表学会等の名称                    | 概要  |
|-----|-----------------------------------|---------|-----------|---------------------------------|---|
| 1   | [著書]<br>○○○学<br>(○○○○講座 10)       | 共著      | 平成 2. 11  | ○○出版                            | 血液凝固部門を担当，血液凝固・出血・止血に関する基礎的事項，出血性疾患を概説し，関連する各検査法につき解説した。新しい知見も収載し，臨床検査技師の卒後教育にも役立てるよう配慮した。<br>共同執筆者：○○○○，○本人○<br>A4，総頁数 260<br>担当部分：p34～47，p84～112  |
| 1   | [学術論文]<br>○○○○○における△△△について<br>の検討 | 共著      | 昭和 62. 12 | ○○協会出版会<br>第×回○○○学会収録<br>—教育管理— | 看護教育方法の検討を目的として，本校における看護研究の演習と臨床実習による事例研究報告（過去5年間の実績）について，看護対象の条件（年齢・疾病）と課題の関連，研究方法と結果，文献の活用度，論文の構成などの側面から分析し，考察を加えて，改善の視点を述べた。<br>共同研究者：○○○○○，○○○○○，○本人○<br>A4，p67～72<br>(担当部分は共同研究につき抽出不可能) |